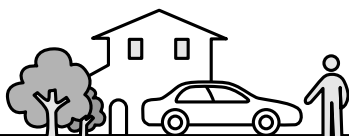


●お出かけまえには.....	8
●お子さまを乗せるときは	11
●走行するときは	13
●駐・停車するときは.....	16
●オートマチック車を運転するときは	18
●こんなことにも注意.....	20
●こんなときは異常ではありません	22
●セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは	23
●経済的な運転をするために	24

△ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

日常点検は必ず実施

- ・車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
●詳しくは、メンテナンスノートをお読みください。
- ・いつもと違うことに気がいたら日産販売会社で点検を受けてください。
(音、振動、臭い、水・油漏れなど)



TCA0001Z

タイヤの空気圧を点検する

- ・タイヤ空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
●詳しくは、209ページをお読みください。

バッテリーの液量を点検する

- ・バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、又は充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
●詳しくは、メンテナンスノートをお読みください。

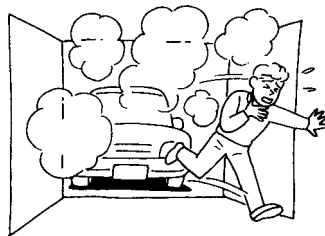
車にあった燃料を補給

- ・指定以外の燃料は補給しないでください。
- ・軽油や有鉛ガソリンを使用すると車に悪影響を与えます。
- ・粗悪な燃料も車に悪影響を与えるので補給しないでください。

エンジン型式	使用燃料
HR15DE MR20DE	無鉛レギュラー ガソリン

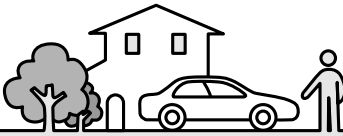
車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

- ・車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



TCA0002Z

△ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

正しい運転姿勢に調節

- ・走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

シートベルトは正しく着用

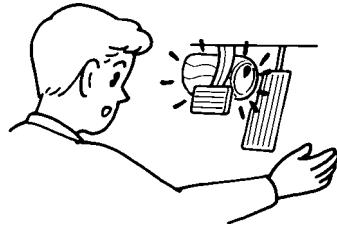
- ・走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。
- ・シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなったり、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。
- ・SRSエアバッグは、シートベルトの補助装置でシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。



TCA0003Z

運転席足元には物を置かない

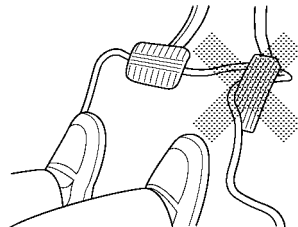
- ・足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。
- ・ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0004Z

車に合わないフロアカーペットは使わない

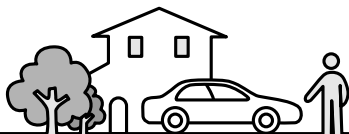
- ・この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



ESD0143Z

●フロアカーペット…192ページをお読みください。

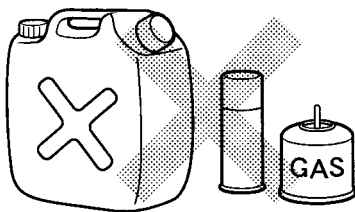
⚠ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

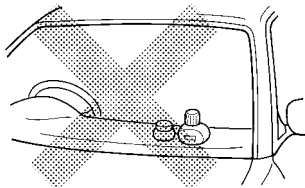
- ・ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。



TCA0005Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

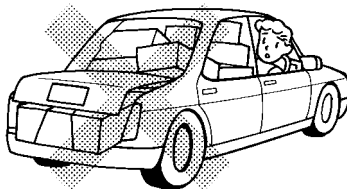
- ・アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0006Z

荷物を積みすぎない

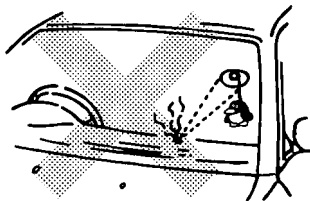
- ・助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0007Z

アクセサリーの取り付けに注意

- ・ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0029Z

△ 重要です。しっかりお読みください。



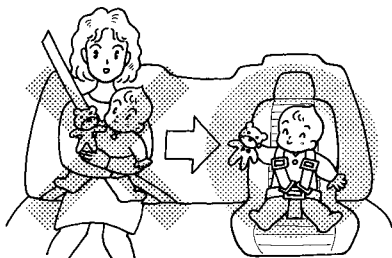
お子さまを乗せるときは

お子さまは後席に

- ・助手席に乗せるのはできるだけ避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
- また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

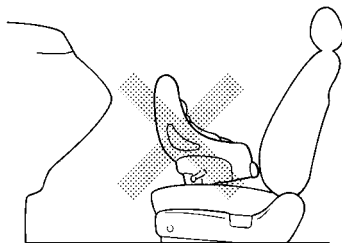
- ・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱えていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 65ページも合わせてお読みください。
- ・シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドセーフティシートやジュニアセーフティシートをお使いください。また、ひとりで座れない小さなお子さまには乳児用チャイルドシートをお使いください。(詳しくは、日産販売会社にご相談ください。)



TCA0008Z

チャイルドシートは後席に

- ・助手席に乳児用チャイルドシートを取り付けたり、チャイルドセーフティシートを後ろ向きに取り付けることはやめてください。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・チャイルドシートをお使いになるときは後席に取り付けてください。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。なお、乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは、必ず後席に取り付けてください。また、チャイルドシートは、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
- ・チャイルドシートの固定方法、及びその他取り扱いかたは、それぞれの商品に付属の取扱説明書に従ってください。
- 60ページも合わせてお読みください。



TCA0355Z

目次

安全・快適カ
ライフのため

走行する前

走行する時

使室内装
備の

つ車と
あの上
いか手
な

万の
とき

付
録

さく
いん

△ 重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

＜チャイルドシート選択の目安＞

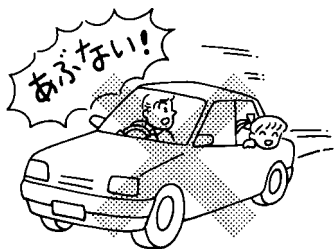
	体重 (kg)	参考身長 (cm)	参考年齢
チャイルドセーフティシート (後向き用)	新生児～ 13未満	新生児～ 85未満	新生児～ 18か月頃
チャイルドセーフティシート (前向き用)	9～ 18以下	70～ 100以下	9か月頃～ 4才頃
ジュニアセーフティシート	15～ 36以下	100～ 150以下	3才頃～ 12才頃

ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ・ドア、ウインドー、トランクなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・パワーウインドーロックスイッチは必ず押し込んでおいてください。
 ●詳しくは、47ページをお読みください。
- ・チャイルドセーフティドアロックはロック側にしておいてください。お子さまがひとりでドアを開けると危険です。
 ●詳しくは、37ページをお読みください。
- ・お子さまがトランクで遊んで、自らが閉じ込められてしまうと、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが車のまわりにいるときは、トランクに入り込まないように注意してください。

窓から手や顔を出さない

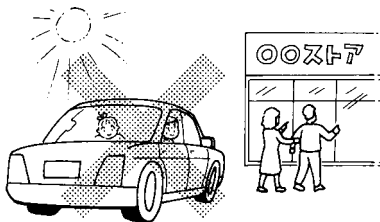
- ・お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。



TCB0056Z

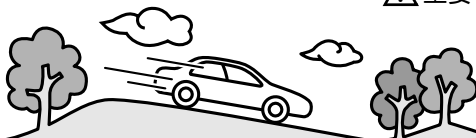
車内にお子さまだけを残さない

- ・車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- ・お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0012Z

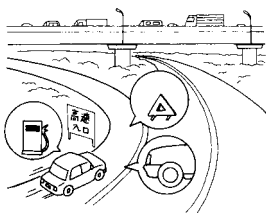
△ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

高速道路に入る前には燃料などを再確認

- ・燃料は十分補給してください。高速道路上での燃料切れは危険です。
- ・タイヤの空気圧が不足していないか確認してください。空気圧不足の状態では高速走行をすると、バースト（破裂）するおそれがあります。
- ・万一のために停止表示板（停止表示灯）を車に備えておいてください。停止表示板（停止表示灯）の表示は、法律で義務づけられています。（別売りです。）



TCA0395Z

車のためにならし運転を

- ・エンジン本体、駆動系などの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
- 走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

走行中はエンジンを止めない

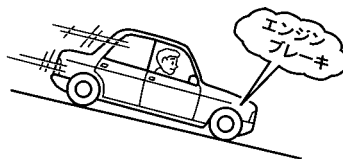
- ・エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなったり、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCE0041Z

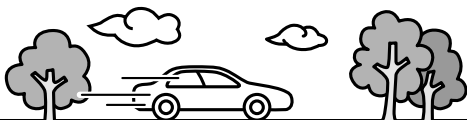
長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

- ・ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
 - ・4AT 車はセレクトレバーを**2**又は**1**に入れます。
- CVT車は坂の勾配に応じて最適なエンジンブレーキになるよう自動化してありますが、特に強いエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーを**1**に入れます。
- 詳しくは、131ページをお読みください。



TCA0014Z

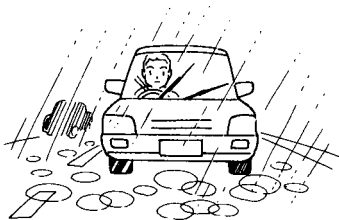
△ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

- ・路面がぬれると滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけてください。
- ・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロブレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロブレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
- ・冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



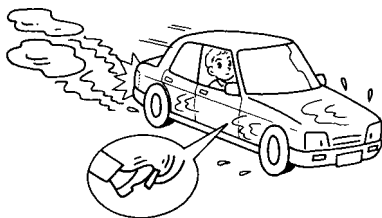
TCA0015Z

タイヤを傷つける運転をしない

- ・道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

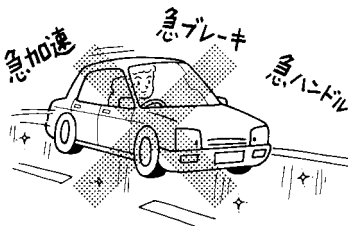
- ・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。
- ・効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。



TCA0016Z

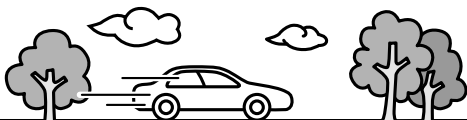
滑りやすい路面を走行するときは慎重に

- ・ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。
- ・急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0017Z

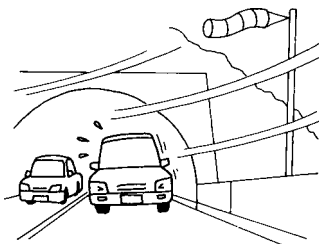
⚠ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

横風が強いときは

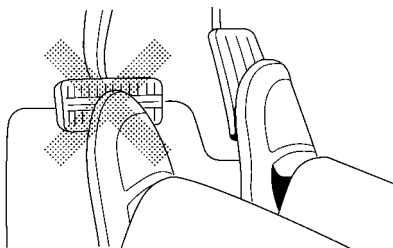
- ・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。
- ・トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。



TCA0018Z

ブレーキペダルに足をのせたままにしない

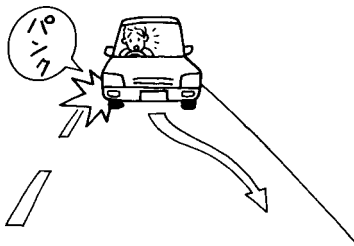
- ・ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効が悪くなるおそれがあります。



TCA0019Z

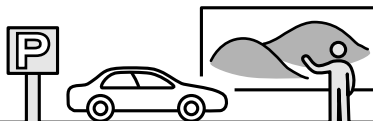
走行中に異常があったら

- ・警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
 詳しくは、90ページをお読みください。
- ・走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。
- ・床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。



TCA0020Z

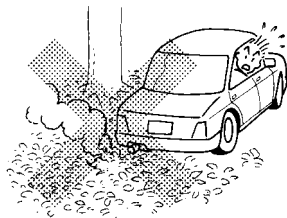
△ 重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

- ・ 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- ・ 車両後方に木材、ベニヤ板などの可燃物があるときは、車両後端から十分に距離をとって駐・停車してください。すき間が少ないと、排気ガスにより変色や着火するおそれがあります。



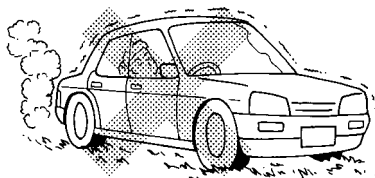
TCA0021Z

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

- ・ 無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてから施錠してください。
- ・ お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。
- ・ お子さまがトランクに閉じ込められると、重大な傷害を受けるおそれがあります。車を使用しないときは、ドアを施錠し、トランクを閉め、車のキーはお子さまの手の届かない所に保管してください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- ・ 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、車の不意な発進やエンジン過熱による火災など、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ・ エンジンをかけたままエアコンを内気循環にして長時間使用すると、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があった場合、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。



TCA0022Z

ハンドルをいっばいに切った状態を長く続けない

- ・ 車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっばいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。
- 詳しくは、EPS（電動パワーステアリング）警告灯…96ページをお読みください。



TCA0023Z

△ 重要です。しっかりお読みください。

目次

安全・快適カ
ライフのため

走行する前

走行するとき

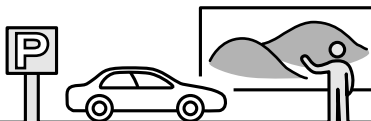
室内装備の
使いかた

つきあいの
上手な

万のとき

付録

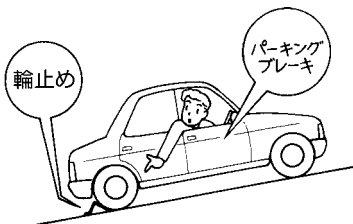
さくいん



駐・停車するときは

坂道駐車はパーキングブレーキを確実に

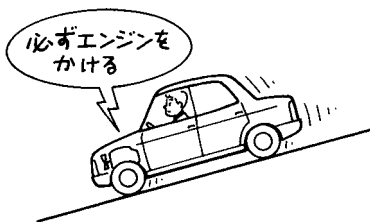
- ・無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れてください。
更にタイヤに輪止めをすると効果があります。



TCA0024Z

車の移動はエンジンをかけて

- ・必ずエンジンをかけて移動してください。エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0025Z

エンジンをかけたまま小休止するとき

- ・エンジンをかけたまま仮眠や長時間駐車はしないでください。
- ・冬場の駐車など暖房をせざるを得ない状況で、やむを得ずエンジンをかけたまま長時間駐車するときは、以下のことを確認してから駐車してください。
*換気の悪い車庫や屋内など排気ガスが充満するような場所でないこと。
*他車の排気口が近くにあること。
*エアコンが内気循環になっていないこと。
*大雪などで、スッポリと埋まる可能性がないこと。
*セレクトレバーやアクセルペダルに、無意識に触れることがないように後席に座ること。

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



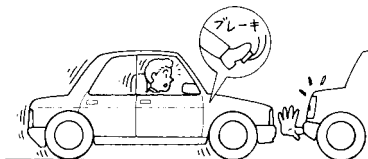
オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

🔍 詳しくは、127ページの「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリープ現象に注意

- ・エンジンがかかっているとき、セレクトレバーを**□**、**N**以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。(これをクリープ現象といいます。)
- ・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転数が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



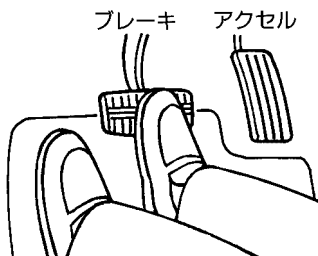
TCA0026Z

キックダウンは適切に

- ・セレクトレバーが4AT車は**□**、**2**で、CVT車は**□**で走行中にアクセルペダルをいばいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速が得られます。(これをキックダウンといいます。)
- ・滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

- ・ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。
- ・アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



TCA0579Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

- ・発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
- ・後退したあとは、すぐセレクトレバーを**□**から**N**に戻す習慣をつけてください。

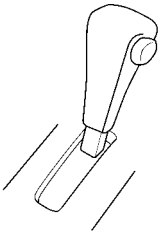
⚠ 重要です。しっかりお読みください。



オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

- エンジンがかかるときは**P**、前進するときは**D**、後退するときは**R**にあることを目で確認してください。
- イグニッションノブがONのとき、セレクトレバーを**R**に入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。(車外の人に注意するものではありません。)

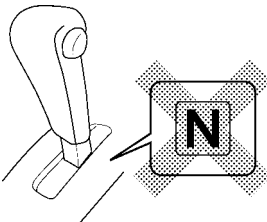


P

メーター内インジケーター
ESF0301Z

走行中は**N**にしない

- 走行中にセレクトレバーを**N**にすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスアクスルが故障する原因となります。



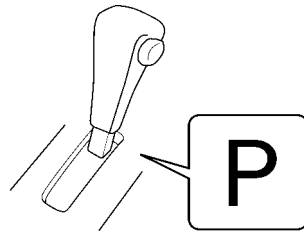
ESF0302Z

無用な空吹きはしない

- 万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときは**P**にする

- エンジンがかかったまま、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ESF0303Z

シフトロックシステム

オートマチック車を安全にお使いいただくために、シフトロックシステムが付いています。よく理解して正しく操作してください。

- 詳しくは、126ページをお読みください。
- イグニッションノブがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、**P**からセレクトレバーを動かすことができません。
- セレクトレバーを**P**に入れないと、イグニッションノブからキーが抜けません。

△ 重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

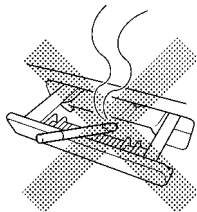
- ・ラジエーターやリザーバタンクが熱いときはキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し危険です。
- ・冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。



TCA0028Z

タバコの吸いがらの火は消して

- ・タバコやマッチなどの火は確実に消し、灰皿のふたは必ず閉めてください。
- ・灰皿の中には吸いがらを入れすぎたり、燃えやすい物を入れないでください。



ESF0304Z

炎天下で駐車するときは

- ・炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

- ・操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

- ・点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

薬を服用したときは運転しない

- ・カゼ薬など眠けをもよおす薬を服用された方は運転を避けてください。

△ 重要です。しっかりお読みください。

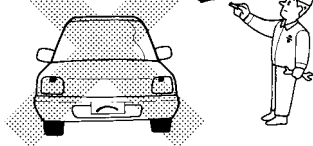


こんなことにも注意

違法改造はしない

- ・車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。

違法改造



TCA0030Z

- ・次のような場合には日産販売会社にご相談ください。

*タイヤ、ロードホイールの交換

指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

*電装品、無線機などの取り付け

適切でない電装品や無線機などを取り付けしないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーがあがる可能性があります。

(詳しくは、日産販売会社へご相談ください。)

*ハンドルの取り外しや交換

ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

電話は安全な場所に停車して

- ・運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0031Z

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

- ・朝一番及び長時間駐車後の走り始め、又は降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。
- ・高性能スポーツブレーキパッド採用車は、スポーツ走行用の摩擦係数のきわめて高いブレーキパッドを採用しているため、従来のブレーキパッドに比べ、ブレーキを緩め発進するときや停止する間に“グー”や“キー”といった音が発生する場合があります。
- ・これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

- ・ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。
- また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
- ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

燃料給油時に必ず守ること

- ・エンジン必ず止め、車のドアや窓は閉めてください。
- ・タバコを吸うなど火気を近づけないでください。
- ・フューエルキャップを開ける前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
- ・補給口のリッドを開ける操作から給油が完了するまでの作業は、必ずひとりで行ってください。
給油作業中の人以上は、帯電しているおそれがあるため、給油口に近づけないでください。
また、給油の作業を行う人は、給油中に再び車内のシートに戻らないでください。再帯電するおそれがあります。
- ・フューエルキャップはツマミ部分を持って回してください。
開閉操作は、48ページをお読みください。
フューエルキャップは純正品以外は使用しないでください。
- ・給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- ・給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ・ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項は必ず守ってください。

燃料給油時は注意

- ・給油時に気化した燃料を吸わないようにしてください。

目次

安全・快適カーライフのために

走行する前に

走行するとき

室内装備の使いかた

車と上手なつきあひ

万一のとき

付録

さくいん

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



経済的な運転をするために

もっと燃費を向上するには

- *無用なアイドリングをやめる（アイドリングストップ）
人待ちや荷降ろしなどで駐・停車するときは、エンジンのかけっぱなしをやめましょう。
- *経済速度で走行する
一般道路なら時速40km程度、高速道路なら時速80km程度で走行するのが経済的な走りかたです。
- *点検・整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にする
- *無駄な荷物を積まない
車のエンジンは荷物の重さに敏感です。
- *無駄な空吹かしをやめる
10回の空吹かしは乗用車でガソリン約60ccの燃料が無駄になります。
- *急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる
- *渋滞をまねく違法駐車をしない
迷惑駐車は交通渋滞をもたらす余分な排気ガスを出させる原因になります。
- *エアコンの使用を控えめにする
エアコン使用時はエンジンの回転数が高くなるため、結果として燃料の使用量が増加します。まめに適正な温度に調節することが重要です。